



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 ピクスタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣 大介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田 茂穂 TEL 03 (5774) 2692
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,258	△2.4	159	10.2	158	10.8	111	△31.0
2023年12月期中間期	1,290	△5.4	144	90.1	143	71.8	161	211.4

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 112百万円 (△30.8%) 2023年12月期中間期 163百万円 (205.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	58.01	57.93
2023年12月期中間期	75.16	75.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,349	1,018	42.1
2023年12月期	2,305	988	41.7

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 989百万円 2023年12月期 960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,629	0.3	340	1.5	341	12.9	233	△10.8	111.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、短信添付資料の8ページ「2. (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」の「中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	2,296,640株	2023年12月期	2,296,640株
2024年12月期中間期	429,240株	2023年12月期	334,840株
2024年12月期中間期	1,926,570株	2023年12月期中間期	2,154,993株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、景気は一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復しております。一方で、不安定な国際情勢等による資源価格の高騰や急速な為替変動に伴う物価高、金融資本市場の変動など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライブイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高1,258,541千円（前年同期比2.4%減）、営業利益は159,315千円（前年同期比10.2%増）、経常利益は158,795千円（前年同期比10.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は111,758千円（前年同期比31.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが増加したこと等により、72,404人（前年同期比2.8%増）となりました。一方、単品の月間購入者数累計は、単品利用ユーザーの定額制の少量ダウンロードプランへの移行が進んだこと等により、53,786人（前年同期比8.3%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,134,087千円（前年同期比2.9%減）、うち定額制売上高は、673,889千円（前年同期比1.3%増）となりました。また、セグメント利益は、436,014千円（前年同期比0.8%減）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、桜開花時期の遅れに伴う撮影のキャンセルの増加により累計撮影件数は11,065件（前年同期比1.6%減）となりました。また、当中間連結会計期間におけるギフト券の失効に伴う売上の計上額は1,853千円と前年同期の7,020千円から減少しました。これは、前期は新型コロナウイルス感染症による行動制限に伴い有効期限を延長していたギフト券について延長後の有効期限が到来し失効したことにより増加していたためです。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は76,140千円（前年同期比6.6%減）となりました。また、セグメント損失は、49,801千円（前年同期はセグメント損失58,584千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44,401千円増加し、2,349,474千円となりました。

これは主に、現金及び預金が74,271千円、流動資産その他が31,577千円増加した一方、売掛金が22,851千円、投資その他の資産が37,536千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ13,957千円増加し、1,330,502千円となりました。

これは主に、契約負債が42,603千円、未払法人税等が17,609千円増加した一方、流動負債のその他が37,889千円、長期借入金が19,964千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ30,444千円増加し、1,018,971千円となりました。

これは主に、利益剰余金が111,758千円増加した一方で、自己株式の取得に伴う自己株式の増加83,679千円により減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は42.1%（前連結会計年度末は41.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,402	1,560,674
売掛金	582,514	559,662
その他	98,910	130,487
貸倒引当金	△49	△39
流動資産合計	2,167,778	2,250,785
固定資産		
有形固定資産	6,605	7,428
無形固定資産	70,349	68,457
投資その他の資産	60,339	22,802
固定資産合計	137,294	98,688
資産合計	2,305,072	2,349,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,246	395,884
1年内返済予定の長期借入金	40,008	39,968
未払法人税等	38,639	56,248
契約負債	560,992	603,596
その他	272,694	234,804
流動負債合計	1,296,581	1,330,502
固定負債		
長期借入金	19,964	-
固定負債合計	19,964	-
負債合計	1,316,545	1,330,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,437	322,437
利益剰余金	616,363	728,122
自己株式	△312,358	△396,037
株主資本合計	958,880	986,959
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,512	2,526
その他の包括利益累計額合計	1,512	2,526
新株予約権	28,134	29,485
純資産合計	988,527	1,018,971
負債純資産合計	2,305,072	2,349,474

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,290,112	1,258,541
売上原価	453,514	447,460
売上総利益	836,598	811,080
販売費及び一般管理費	692,036	651,765
営業利益	144,562	159,315
営業外収益		
受取利息	77	13
為替差益	1,551	815
助成金収入	1,753	-
受取手数料	637	1,817
講演料等収入	-	964
その他	542	435
営業外収益合計	4,562	4,045
営業外費用		
支払利息	246	130
本社移転費用	5,498	-
支払手数料	-	4,435
その他	0	0
営業外費用合計	5,745	4,566
経常利益	143,379	158,795
特別利益		
新株予約権戻入益	3,972	3,081
債権譲渡益	48,380	-
関係会社株式売却益	10,008	-
特別利益合計	62,360	3,081
税金等調整前中間純利益	205,739	161,876
法人税等	43,772	50,117
中間純利益	161,967	111,758
親会社株主に帰属する中間純利益	161,967	111,758

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	161,967	111,758
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,035	1,013
その他の包括利益合計	1,035	1,013
中間包括利益	163,003	112,772
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	163,003	112,772
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	205,739	161,876
減価償却費	22,405	13,210
本社移転費用	5,498	-
新株予約権戻入益	△3,972	△3,081
債権譲渡益	△48,380	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△10,008	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△10
受取利息及び受取配当金	△77	△13
支払利息	246	130
為替差損益 (△は益)	△1,470	△697
売上債権の増減額 (△は増加)	10,106	22,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,967	11,638
未払金の増減額 (△は減少)	△73,695	△5,962
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	1,217	△529
契約負債の増減額 (△は減少)	40,921	42,603
その他	△17,278	△40,997
小計	140,265	201,019
利息及び配当金の受取額	77	13
利息の支払額	△220	△121
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△17,398	△31,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,722	168,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,190	△2,359
無形固定資産の取得による支出	△17,085	△9,525
敷金及び保証金の差入による支出	△1,300	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	37,343
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	30,433	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,856	25,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△36,504	△20,004
自己株式の取得による支出	△80,270	△83,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,774	△103,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,583	867
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,388	91,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,470,772	1,510,054
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,489,160	1,601,614

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当中間連結会計期間において自己株式が80,244千円(103,100株)増加しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当中間連結会計期間において自己株式が83,679千円(94,400株)増加しております。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
広告宣伝費	94,770千円	87,414千円
給料手当	282,194千円	279,463千円
貸倒引当金繰入額	44千円	△10千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	1,333,188千円	1,560,674千円
預け金(注)	155,972千円	40,940千円
現金及び現金同等物	1,489,160千円	1,601,614千円

(注) 預け金の一部は当社提供サービスの対価回収における、決済サービス会社に対しての一時的な預け入れ等であり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,167,972	81,563	1,249,536	40,575	1,290,112	-	1,290,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,167,972	81,563	1,249,536	40,575	1,290,112	-	1,290,112
セグメント利益又は 損失 (△)	439,325	△58,584	380,741	△24,880	355,860	△211,298	144,562

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,134,087	76,140	1,210,228	48,313	1,258,541	-	1,258,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,134,087	76,140	1,210,228	48,313	1,258,541	-	1,258,541
セグメント利益又は 損失 (△)	436,014	△49,801	386,212	△42,580	343,632	△184,316	159,315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。